遥か御嶽山を望む、自然豊かな古き山里　中山道細久手宿

海抜420mの山中に発展した細久手宿は、今ものんびりとした山里の風景が楽しめる美しい場所です。中山道沿いには、尾州家の本陣であった大黒屋（国登録有形文化財）が今も昔の建物のまま旅館を営んでいます。中山道と並行して森林を通る道は、昔の中山道を思わせるような絶好の散歩道です。晴れていれば美しい姿をした御嶽山を望むこともできる自然豊かな古き山里、中山道細久手宿の散策をお楽しみください。（距離：約3km）

① 望雲盧住居跡（ぼううんろじゅうきょあと）

佐藤権造梅波は、岩村藩出身の儒学者、佐藤一斎の甥でこの場所に細久手塾「望雲盧」を開きました。今は建物は全く残っていませんが、梅を愛した梅波は、塾の四方に梅を植えていたということで、今も林の中に数本が残っています。

② 高札場跡

宿場の入口に立ち、中山道の通行賃、宿の決まり、キリシタンや博打の禁止など幕府からの様々な規則や通達がここに掲げられました。

③ 庚申堂

弘法様と呼ばれた庚申堂が、宿場の東北の鬼門、宿場を見下ろす小高い丘に建っています。お堂は細久手で最も古い建物で、享和2年(1802)に再建されたものです。堂内には、薬師如来、如意輪観音、弘法様、庚申様が祀られています。境内には観世音、如意輪観音、地蔵菩薩、笠塔婆、役行者等があり、当時の人たちの信仰の厚さが偲ばれます。

⑤ 刑場跡

昔、妻の浮気に腹を立てた夫が妻と浮気相手を殺した罪によりここで処刑されたというお話が残っています。

⑥ 茶屋ヶ根

細久手の入口で、昔旅人が休憩する茶屋があったことからこの名がつきました。見晴らしがよく、遠く御嶽山をみる事ができます。この辺りから見る御嶽山は特に美しく、その姿は人々の心を慰め、厚い信仰を受けたようです。

⑦ 妙見様・監視哨跡（かんししょうあと）

このあたりは、細久手で一番高い場所で、ここに妙見大菩薩の碑が建っています。妙見菩薩は北極星を神格化したもので、その名の通り「妙なる見」で事の善悪や心理を見通すと言われています。また、北極星は航海の目印となる星です。すぐ近くには、四方を見渡せる事から、第2次世界大戦時、アメリカ軍の飛行機を監視するための監視哨がありました。

⑧ 本陣墓地

細久手にあった本陣、小栗家の墓地です。小栗家は明治に入って東京に移ったので新しい墓はありません。江戸時代の墓が山林の中にひっそりと佇んでいます。

⑨ 日吉・愛宕神社

宿の西の霊場となる位置に文禄4年(1595)日吉神社と愛宕神社が祀られました。本殿前には、阿吽の狛犬、細久手最古の石燈籠、金比羅と学問の神様、北野天満宮の祠があります。

⑩ 南蔵院跡

昔、ここには、修験者が住んでおり、日吉・愛宕神社や庚申堂をお守りし、加持祈祷を生業としていました。今は珪化木の石燈籠だけが名残をとどめています。

⑪ 大塚

昔、高貴な方が旅の途中で亡くなられ、埋葬したことから王塚と呼ばれ、のちに大塚となりました。和宮降嫁の折は、細久手が大火で焼けたため、隣の大湫宿に泊まることになりましたが、道中が長くて我慢できなかったものを重箱に納めてこの大塚に埋めたことから「おくそ塚」と親しみ呼んだというお話が残っています。

⑫ 九万九千日観音

岩屋の中に祀られているこの観音様は、1回お参りすると九万九千日分のご利益があると信じられ、昔は大勢の人が線香を持ってお参りしたため、すすで中が真っ黒になったほどです。本尊は馬頭観音です。

⑬ 国枝家の墓

国枝与左衛門は細久手を開いた人です。ここには、与左衛門から孫兵衛までの4つの墓が建てられています。墓の周辺には、二股の杉が墓を囲むようにしていますが、これは夫婦仲良くしていくようにというメッセージではないかと地域の人たちに語りつがれています。

⑭ 和宮使用の井戸

和宮は細久手で昼食をとっており、その際に使った井戸と言われています。この水を飲むと和宮のように美しくなれるとか。

⑮ 日吉屋

日吉屋は格子戸の残る昔の商家です。細久手には昔の建物が少なく、かつての宿場の様子を物語る貴重な家屋です。

⑯ 大黒屋　安政6年(1859)築

細久手宿は、本陣、脇本陣がやや手狭であったことと、尾州家が他の藩と合い宿のとき他の領主に迷惑がかかることをさけて、大黒屋を尾州家定本陣としていました。卯建、玄関門、式台、上段の間、部屋には、細久手出身で尾張徳川家のお抱え絵師となった小木曽文洲の掛け軸があります。

④ 安藤広重が細久手宿を描いた場所

このちょうど小高い位置から宿場を見下ろす構図で安藤広重の「木曾街道六十九次之内　細久手」が描かれました。昔は街道の両脇に立っていた松並木も今はありませんが、宿の中心に向かってゆったりとした下り坂が続く様子は当時のままです。

細久手宿提灯祭り

舟底に車輪をつけた山車の上に趣向を凝らした提灯をいっぱい飾り付け、おはやしに合わせて威勢のいい掛け声で綱を引き、夜の宿場内を練り歩く当宿の伝統の夏祭りです。

毎年7月 第4土曜日 夜8時より開催

企画　中山道観光ボランティアガイドの会
制作　中山道ぎふ17宿歩き旅事務局（日本イベント企画株式会社内）